

沖縄県医療ソーシャルワーカー協会

MSWニュース 4月号

2018年3月1日発行

事務局：大浜第一病院
〒902-8571 那覇市天久 1000 番地

TEL (098) 866 - 5171

FAX (098) 864 - 1874

E-mail t-matayosi@ns.omotokai.jp

編集：仲地 貴弘
(豊見城中央病院)

研修参加報告

平成 29 年度 沖縄県入退院支援デザイン事業

在宅医療・介護連携推進事業に係る意見交換会・見学会 開催報告

豊見城中央病院 入退院支援室 金城 大樹

医療機関の機能と入退院支援連携の実際について理解を深め、今後の在宅医療、介護連携推進における市町村の地域包括支援システムの構築に向けた取り組みを目的に、平成 30 年 2 月 22 日、豊見城中央病院にて、地域の市町村職員、地域包括支援センター職員、ケアマネージャー、近隣病院の方々約 30 名をお招きし、「平成 29 年度 沖縄県入退院支援デザイン事業 在宅医療・介護連携推進事業に係る意見交換・見学会」を開催致しました。

はじめに、当院看護部長の有銘淳子より当院の概況の説明を行い、その後の講義では、沖縄県医療ソーシャルワーカー協会樋口美智子会長より「各病院の種類と機能について」、私から「当院における入退院支援の取り組みについて」を発表させて頂きました。その後、グループに分かれての院内各部署の見学、意見交換会を行いました。意見交換会では『医療・介護関係者の情報共有』について工夫していること・できている事をテーマにグループワークを行いました。協働できそうな事を活発に意見交換し、話し合いが行われるなかで、病院と地域との普段からの連携の必要性や、顔の見える連携の重要性を感じました。ケアマネージャーとの入院時における早期連携の重要性や、県内での統一した連携シートの活用といった意見もあり、今後の在宅医療、介護連携推進における貴重な意見交換の機会になりました。



CONTENTS

- 研修報告・・・・・・・・・・1～2
- 運営委員会議事録・・・・・・6～7
- はいさいワーク・・・・・・・・・・7

運営理事会議

日 時：平成 30 年 3 月 19 日（月）

場 所：県総合福祉センター

参 加 者：樋口会長、新垣、仲地、香村、石郷岡、安慶名、伊禮 當銘（計 8 名）

内 容：

各部報告

（研修部）

・めだかの学校

H 2 9 年度は活動終了。次年度活動計画を立てる集まりもつ予定。次年度は月一開催の開催回数を見直す予定。

・めだかのホームルーム

次年度は事例検討を中心に行う。場所は持ち回りを検討中。

・中堅者研修

H 3 0 年 6 月 2 日（土）1 日かけて行う

場所：ハートライフ病院

参加人数：5 0 人定員（4 団体協議会にも声をかける予定）

・初任者研修

H 3 0 年度は大会や msw 協会主催の研修会も多いので、6 月、7 月、8 月ですべて終わらせる予定。昨年度と同じ日曜開催の 3 回に分けて行う。

・九州MSW協会・中堅者研修

次年度のおきなわ大会の翌日開催予定。小原真知子先生講師にお呼びする予定。

・九州MSW協会おきなわ大会

ながさき大会で行った「会長の部屋」あらため、「会長いらっしやい」ランチョンセミナーとして運営予定。

（広報）

4 月号ニュース担当：豊見城中央病院・金城さん担当

はいさいワーク随時搭載

（社会活動）

特になし

（事務局）

・九州理学療法士作業療法士合同学会（1 0 月開催）より後援依頼来ている。

→後援承認

- ・琉球大学に薬学部設立の賛同署名依頼が薬剤師協会からきている
→署名賛同承認
- ・会費引き落としについて
3月30日に引き落とし予定
- ・ニュース発行で使用の郵便局のユーマールが値上げ予定（84円→104円に値上げ）。毎月60か所ほど送っている。年間1万円予算超過することに。クロネコヤマトの宅急便は90円なので、4月からクロネコヤマトへ変更していいか。
→郵便局、クロネコヤマト両方値段確認し、安い方利用で承認

（会長より）

- ・協会誌発行やその他事務作業について
事務作業は今まで大浜第一病院で行っていたが、H30年度は協会事務員一人雇い（週三日フルタイム）協会員の指示のもと事務員が協会事務所（県福祉センター）で行うようにする。会計作業については税理士との契約を行う予定。
- ・H30年度のデザイン事業のなかで、事例検討を行う予定。上智大学の高山先生をスーパーバイザーと呼ぶことも可能。今後案を詰める。

（九州研修会おきなわ大会）

参加者：250人参加見込み

収入：参加費6～7千円（懇親会は別会計）、広告収入

支出：印刷代・講師委託料・会場費・講師謝礼金

- ・11月23日（金）午後 30周年記念講演：平田大地さん、研究発表
- 24日（土）午前 基調講演：安藤由美先生（琉球大学）、
午後 会長いらっしやい（ランチョン）、分科会

次年度活動について

（広報）

- ・トピック

H29年度はトピック12回中5回掲載。理事の負担になっていないか。

→2か月に1回、6病院担当で検討。

- ・コラム

→新人会員中心に書いてもらうよう、所属機関の上司に声かける。

- ・新人紹介

→入会時に全員に記入してもらう。事務局と連携。

- ・福祉の窓

→新聞掲載のため、ニュースにはのせないことでH29年度決定。次年度も同様にする。

・研修報告

→記載が同じ会員に偏っているため、掲載時期が数か月後にずれている。負担にはなっているが、研修報告は載せたほうがいいで理事会では意見一致。

協会がオフィシャルに年間計画で立てている研修は、病院ごとに担当を決め、参加者へ研修報告を依頼。

研修も受けっぱなしではなく、簡単にでも研修の感想を書いてもらう、もしくはアンケートを必ず記載にして、それを研修報告としてあげることも検討。

その他の個人的に参加の研修は、2か月遅れでもいいのであるべく掲載を依頼。各病院に提出する報告書の内容とかぶせて書いてもらう等、各会員に負担がないよう配慮。

(研修)

次回年度計画を理事会に提出

(H30年度総会)

5月23日(水)午後～

内容：総会・診療報酬改定についての情報交換会

場所：未定

5/1発行のニュースで詳細は案内予定

各部会の次年度計画を、4月理事会で提出し5月の総会前に、総会資料を発送予定。理事体制も担当名称・担当理事も変更あり。その内容も総会資料に載せる。部会の実働メンバーを決める。

<次回運営理事会>

H30年4月16日(月) 18:30～21:00

場所：県福祉センターボランティア室

■はいさいワーク

事業所名	地方独立行政法人 那覇市立病院
応募資格	社会福祉士の国家資格を保持していること 等
雇用形態	<詳しい情報を見る>を参照して下さい
勤務時間	8:30～17:15/月～金(部署により早出あり)
担当者	医療福祉相談室 樋口 美智子
連絡先	098-884-5111(内線:127)

☆編集後記☆

年度末のお忙しい中、原稿をお引き受けいただきました、皆様、本当にありがとうございました。

沖縄県医療ソーシャルワーカー協会ホームページ

<http://www.msw-oaswhs.jp/>